

政治学を実践する

東京大学先端科学技術研究センターフェロー
前熊本県知事
蒲島 郁夫

1. 実践者から見た圧勝の政治学

(1) 選挙圧勝の要因

- ① 候補者要因
- ② 争点設定の要因
- ③ 政党要因

(2) 2008年知事選挙の 重要性と政治学

(3) 政治的中立性

2

2. 2008年知事選挙と候補者要因

1947年1月

夢を持って、逆境に立ち向かう

熊本県山鹿市(旧稲田村)で、9人兄弟の7番目の息子として生まれる。
両親は戦後、満州から6人の子どもを引き連れて帰国。



小2から高3まで、雨の日も
風の日も、11年間1日も休ま
ず、新聞配達



小学校6年間、
通知表で「5」は
一度だけ

3

1965年 18歳

鹿本高校の成績は、220人中200番台
勉強せずに、読書三昧の日々



阿蘇の噴煙の見える一本松の丘で抱いた夢は
「小説家」「政治家」「牧場主」



4

高校卒業後、自宅近くの稲田村農協に就職。
家畜の飼料・肥料、プロパンガスの配達を担当。



夢に向かって、一歩踏み出す！



1968年 21歳

農協を退職し、**農業研修生**
として渡米
研修生とは名ばかり、
安く使われる労働者



5

1971年 24歳

ネブラスカ大学農学部
に入学するため再渡米
受験に失敗するも教授
の推薦で仮入学でき、
1学期で特待生に



1972年 25歳

120%の努力

熊本の婚約者を呼び寄せる。アルバイト以外は寝ても覚めても勉強し、
オールAで授業料免除、奨学金ももらえたので、ようやく米国で結婚



6

1979年 32歳

ハーバード大学政治経済学博士号取得
通常6年くらいかかる博士課程を
3年9カ月で修了。
早く修了しないと食べていけなかった。

ハーバード
大学卒業



1980年 33歳

筑波大学社会工学系講師 ⇒ 助教授 ⇒ 教授



1997年 50歳

東京大学法学部教授に就任



7

3. 圧勝と蒲島県政の誕生

2008年 61歳

熊本県知事に就任



努力



8

まずは、県庁文化を変える！

【従来の行政】

指導・規制
管理・継続性
画一性

県職員の
考え方を
変える！

県民の
総幸福量
の
最大化

◆ 皿を割ることを恐れるな
(=失敗を恐れず、チャレンジせよ！)

県庁を「日本一挑戦する集団」へ改革

9

蒲島県政の枠組み ～3つの政治～

決断の政治

財政再建, 水俣病, 川辺川ダム問題
(2008年4月) (2009年7月) (2008年9月)

目標の政治

くまモン, 熊本市の政令指定都市,
九州新幹線開業

対応の政治

熊本地震, 新型コロナウイルス,
豪雨災害

蒲島県政

(ニュースタット ハーバード大教
授)

10

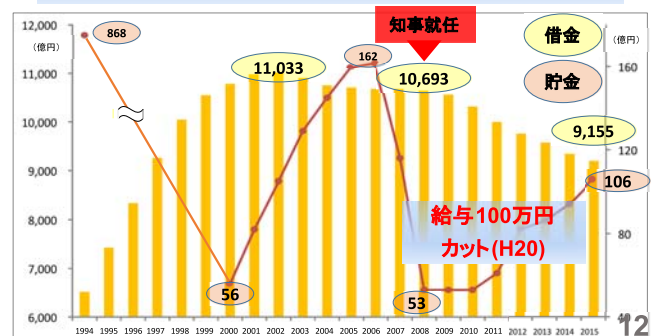
1. 決断の政治



11

決断の政治 ～県財政の再建～

県の借金 (通常県債残高) を1,500億円以上削減
貯金 (財政調整用4基金残高) は2倍に



12

2. 目標の政治



13

目標の政治

$$y = f(E, P, S, H)$$

$$y = \text{県民の総幸福量の最大化}$$

4つの
要因

E = Economy (経済的豊かさ)
P = Pride (誇り)
S = Security (安全・安心)
H = Hope (夢)



14

目標の政治

全微分による要因分析

$$y = f(E, P, S, H, K)$$

K = くまモン

$$dy = \frac{\partial f}{\partial E} dE + \frac{\partial f}{\partial P} dP + \frac{\partial f}{\partial S} dS + \frac{\partial f}{\partial H} dH + \frac{\partial f}{\partial K} dK$$

$$\frac{dy}{dK} = \frac{\partial f}{\partial E} \frac{dE}{dK} + \frac{\partial f}{\partial P} \frac{dP}{dK} + \frac{\partial f}{\partial S} \frac{dS}{dK} + \frac{\partial f}{\partial H} \frac{dH}{dK} + \frac{\partial f}{\partial K}$$

15

くまモン

熊本県のPRマスコット

2010年に九州新幹線の全線開通を機に誕生

◆誕生当時は誰も関心を寄せず、
子供は逃げ出した

◆県庁の臨時職員に採用。
人気が出始める!



◆熊本県営業部長 兼 しあわせ
部長に就任。人気者へ!!

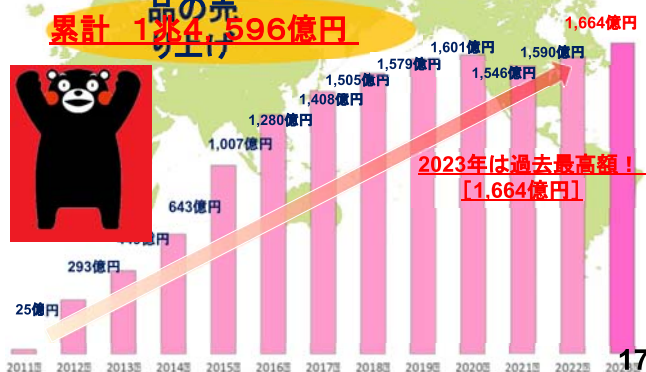
◆天皇皇后(現上皇皇后)両陛下と
面会【マスコット“初”】

16

～ くまモンの誕生と成長 ～

利用商
品の売
り上げ

累計 1兆4,596億円



2023年は過去最高額!
[1,664億円]

17

くまモンの共有空間(コモンズの理論)

ギリシャ・ローマの公共空間

- ・神殿を中核とする公共空間が形成される
- ・公共空間には一元的な権力はなく、友愛と感謝の気持ちで交換を行う
- ・人々は誰でも自由にアクセスでき、ヴァーチャルな公共空間が出来上がる
- ・公共空間の形成は、負担の観念を完全に断ち切って、私人が神々に「贈与」するという形で実現される

くまモンの共有空間

- ・くまモンを中心とした共有空間が形成
- ・全体をコントロールする者はおらず、各主体が思い思いの形で参加
- ・人種も国籍も年齢もジェンダーもなく、誰でも参加でき、それによって共有空間が生まれる
- ・「有償の取引」ではなく、「無償で自発的な参加」が基本

参照: 木庭頭『政治の成立』、『ローマ法家内』

18

3. 対応と転換の政治



19

対応の政治 ～「ダブルパンチ」の大打撃～

1. 平成28年(2016)4月
熊本地震

3期目
就任当日

2. 令和2年(2020)7月
豪雨

4期目
スタート直
後

20

熊本地震

2016年4月14日...前震・震度7
3期目就任日の4月16日...本震・震度7
余震が4,300回以上も続く、未曾有の大災害



21

復旧・復興の3原則

- II 単に元あった姿に戻すだけでなく、
創造的な復興を目指す
- III 復旧・復興を熊本の 更なる発展につなげる



復旧・復興プランを策定し、
「創造的な復興」に取り組む

22



御厨貴 座長代理
(みくりや たかし)



(故)五百旗頭真 座長
(いおきべ まこと)



金本良嗣 委
(かねもと よしつぐ)



板東真理子 委
(いんど まりこ)



古橋佳子 委
(ふるかう よしこ)

平成28年6月19日
知事へ提言



谷口将紀 委員
(たにぐち まさき)

くまもと復旧・復興有識者会議
build back better
単に元あった姿に戻すだけでなく創造的な復興を目指す

23

S.ハンティントンのギャップ仮説

期待 ⇒ 失望 ⇒ 不満

期待値
—
実態値 = 不満

24

熊本地震からの創造的復興



25

阿蘇くまもと空港の創造的復興



26

世界とつながる創造 八代港(くまモンポート八代)



27

県都の品格ある陸の玄関口 熊本駅



28

すべての道は熊本に通じる



29

対応から最も困難な転換の政治へ ～令和2年7月豪雨～



30

球磨川治水～緑の流域治水で命と清流を守る～



31

4. 創造的復興を超えて

経済の安全保障とTSMC



32

台湾・半導体製造大手 TSMC(JASM)の進出

第1工場
進出(2021.10)

第2工場
進出(2024.2)

【新工場概要(第1工場・第2工場)】

- 稼働開始: (第1工場)2024年末まで (第2工場)2027年末まで
- 生産品目(回路線幅): 40nm、2/2nm、12/16nm、6/7nm
- 設備投資額: 2兆9,600億円超 (230億米ドル超)
- 雇用予定者数: 3,400人以上
- 主な出資企業: ソニー、デンソー、トヨタ



JASM完成予想図

半導体産業の集積強化

九州全体の経済波及効果
約20兆770億円

2030年までの10年間
【九州経済調査協会推計】

新生シリコンアイランド九州の実現
～日本の経済安全保障の一翼を担う～

33

ハード整備に係る喫緊の課題



法津沢(国道5号)



法津沢(国道5号)



- 1 交通渋滞解消のための道路整備
- 2 空港アクセス鉄道の整備
- 3 下水処理場の整備
- 4 新規工業用水の整備

(8/21)
社会資本整備に係る
緊急要望活動



34

首相官邸で岸田総理からこの発言を引き出す

蒲島知事からは、現地の声としてインフラ整備の必要性に言及がありました。せっかくの民間の投資拡大の動きに、政府がブレーキをかけてはならない。戦略分野の事業拠点に必要なインフラ投資を、追加的に複数年かけて安定的に対応できる機動的な仕組みを創設いたします。土地利用の規制についても、国家プロジェクトが円滑に進むよう、柔軟に対応してまいります。

※首相官邸ホームページ (https://www.kantei.go.jp/) より抜粋



35

空港の機能強化と産業集積に伴うまちづくり

- TSMCの進出をきっかけに、空港周辺を取り巻く環境が大きく変化
- 有識者会議を設置し、更なる投資を呼び込むまちづくりを目指す
⇒空港周辺地域の更なる活性化に向け、「**新大空港構想**」を策定

【新大空港構想有識者会議委員 (敬称略)】

座長 飯島 彰己 (いじま まさみ) 三井物産株式会社顧問	委員 新浪 剛史 (にいのみ たけし) サントリーHD株式会社 代表取締役社長	委員 石原 進 (いしはらすすむ) 九州旅客鉄道株式会社 特別顧問
委員 坂東 眞理子 (ばんとう まりこ) 昭和女子大学総長	委員 倉富 純男 (くらとみ すみお) 西日本鉄道株式会社 代表取締役会長	委員 東 哲郎 (ひがし てつろう) Rapidus株式会社 取締役会長
委員 永野 芳宣 (ながの よしのぶ) 九州産業大学特命教授		

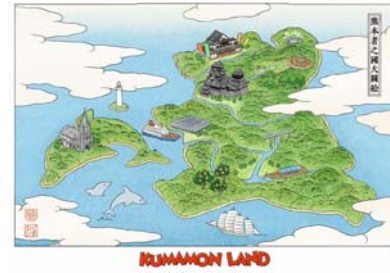
36

新大空港構想とサイエンスパーク

～空港と周辺地域を核とした地方創生のための空間～



37



御清聴
ありがとうございました

Fin.